全则

發行所 新京日日新聞配

新州部門

內外諸問題

空率直に披瀝

米內新

内閣の對議會方針

求めてこれ等内外諸問題に闘する具體策を出來る限方針で、議會閉會中隨時政府側より積極的に簽言を変の調整については飽くまで自主的立場を堅持する変の調整については飽くまで自主的立場を堅持する資第三國國

眞摯なる協力を求め相共に時局打開に邁進すべく決り率直に述べ秘密主義を排し赤誠を披養して國民の

意してゐる

日構物動計畫 料在日

互物資運用 連營に大體滿足すべ 續さ東土中の松田經濟部次長、神田金書處長は飛行機で歸滿した、なほ星野長官と日本政府並的世界情勢の變化に即應する日滿間の强力なる 多 星野長 談任歸官

段ミ强化さる

を海外に輸出して一方針と大體同じ方向に進む 満洲國より日 日本の方針である適正物價 きであるが、 | 共聯合の國防政府を組織し | 産業は其後務か、 十一月下旬蔣介石に對し國 との要求を提出。 【南京廿八日發國通】昨年 | 抗日戦線を統一品

中共割込み强硬

予州沖合で自沈した?

過設米関東部海岸パーずニス號(五一、○六二噸)は

行政院改組に乗じ

野策を決定する事となった ・ 計ル日午後七時本部に臨時 ・ 計ル日午後七時本部に臨時

民政黨の論陣 **懲大會で對議會策協議**

政黨各派

として櫻内、勝雨氏をよな前になる強定であるが、 第の時に進代表を抽行の上豫等總會に入

政友兩派の

對議會態度

設置し

理を中心に内外諸問題を、 理を中心に内外諸問題を、 理を中心に内外諸問題を、

第四陣には濱野徹太郎氏を

態度を決定するこ

の譲き弊部會。常議員會を一副十時東京會館に穂務會

(東京興通) 政友會兩派で 院いて憲大 七十五護會再開に臨む歳の の挨拶に 七十五護會再開に臨む歳の の挨拶に 大會を開 大會を開 大會を開

三十日大會で決定 黨大會に臨む最後方

用して院内に於ける は再開直後の一

社會大衆黨

1 T. 六一八一・五一八一(2)表代話電

に新中央政府樹立の優石を 新、蒙疆三政府代表との間 新、蒙疆三政府代表との間

會談

同志に呼びかく

中央政府樹立が意よ切りである解析につけ込ん

中國共産黨を正式に承

叉連絡の

趙機關調整

無黨派の

國際法を楯に見解を固執

行場着にて青島より空路跡 純正國民黨を除く他の各黨府代表樂鴻志氏と同道廿七 つた、同氏は兩三日中に臨職立七た汪精衛氏は維新政 超直ちに愚國路の私邸に入

談を開催する方針で がかけ青島會談と同 無驚滅の同憂其限の

物中央政府樹立へ急進展

對英再抗議提出

られること」ないられる

経濟開發の進歩に伴ひこれ と接壤する鴻淵園との物資 がなる計畫的貿易の進展は とは別個に刻下の急務とさ とは別個に刻下の急務とさ とは別個に刻下の急務とさ 經濟開發の進捗に作ひこと

高栗、包米等の提得折衡の ・ とり線約廉企畫所處室に ・ とり線約廉企畫所處室に 草、権宅を仰いである關係 一時、漁洲機関の輸出量を中 一時、漁洲機関の輸出量を中 一時、漁洲機関の輸出量を中

十時 沢如何に依り決定される間 ・ 本中 一時半散育したので二十八 を中 一時半散育したので二十八

本日朝刊四頁

満洲國この物資交流活潑化 雜穀輸

系統確立に審議機關設置か といなり目下折角具體的工作の一個問連絡運輸上の種々の一個問連絡運輸上の種々の一個問連絡運輸上の種々の一個問連絡運輸上の種々の一個問連絡運輸上の種々の一個問連絡運輸上の種々の一個問連絡運輸上の種々の一個問連絡運輸上の種々の一個問題を開始することによる日本を関することによる日本を関することによる日本を関することによる日本を制造している。 「手加減 手加減 の一を対する 手加減 日發國通

光氏〈黑河省省長〉

高一氏(官吏)二十 高一氏(官吏)二十 東京世氏(哈爾寶鐵道 東起氏(哈爾寶鐵道 東起氏(哈爾寶鐵道

境に陷る

以外の参政管員を増加オート・多政管を改組し関民黨

で数日前周恩來、玉明、 素膚、貴州、中共秘密西部 実膚、貴州、中共秘密西部 強硬要求をつきつけたと言 はれる

行政院改組問題を終る國院を續げてあると言はれ

石の知き中共制要求の狙ひ ありと見られてゐるが、中 共の割込み策動に對しては 蔣介石は依然精々各部次長 に避用するに留まるとの態

人事往來

議を開催、本省よ と角便館では新事 と各種問題に闘し の州一日及び二月 の出一日及び二月

か り田尻東亜局第一課長、現 地側より加藤公使、北京よ 内田厦門、花輪漢口、堀口 内田厦門、花輪漢口、堀口 高京、岡崎香港、喜多廣東 の各總領事が出席の豫定

新事態に即應

+

を襲び康徳六年四月十七日 を襲び康徳六年四月十七日 を襲び康徳六年四月十七日 を襲び康徳、一年四月十七日 を襲び康徳、一年四月十七日

檢學

は緩め

意語る川又檢察廳次長

る 展 縦 の 二 が は 所 代

し川叉率天高等検察廳文長

には大いに養意を表して があれば誤解る基だしい があれば誤解る基だしい があれば誤解る基だしい ではない。

反對の考

結城總局長談

現地側ご

策動あるも

開拓疑獄白

古田職嚴縣等事件詳報

一、対果より微軟してあた 要する馬車段を始んと 要する馬車段を始れてあるた 大不正行為は牧撃に進な 大不正行為は牧撃に進な すぞの件数を増加し意外 古地数を増加し意外 ないかと見られてある。 は ないかと見られてある。

書者敷は數千名に達する見 敷のみでも九百件に達し被 りない。不當脈價を以て傷か

この分で進展すれば の百六十七個小隊四 の百六十七個小隊四 の百六十七個小隊四 の百六十七個小隊四 の百六十七個小隊四 の百六十七個小隊四

単立つ小學生の雄圖

輝く皇紀に三百個小隊結成

會議 行はれることになり、拓務 非常に期待 選出 これにより第八次本験の募 先遺験の現 とは、しかして る指導班と 一月世四日まで大々的に て活躍する。 の現 の現 がは、しかして る指導班と 一月世四日まで大々的に で活躍する。 ではれることになり、拓務 非常に期待

任奉告のため十七日夜西下 したが、海運問題につき左 の如く語つた

外の實情を 外の實情を 外の實情を 外の實情を 別本に就任率告參拜 一時東 一時東 一時東 一時東 一時東 一時東 妖變め田櫃

條例改正案成る

九二一、二二年兵である 地は最近召集を受けた一 学回召集を解除された部 は最近召集を受けた一 がは最近召集を受けた一 のののである。 ののである。 ののでる。 ののでる。 ののでる。 のので。 ののでる。 ののでる。 ののでる。 ののでる。 のので。 のので。 のので。 ののでる。 のので。 。

技術生訓練日本青少年

| 約十萬下ル輸入註文をなり 地日本人業者は一月十八日 以前に日本内地に於て硫緯 の個動を興べてゐる、※

Mり護護 上各方面に多 である、當在 月十八日ボー

大大学上による日本の蒙む を発生による日本の歌歌と、イギリスから輸入して日本 を受している。 のつてシンガデール駐 を受している。 のつてシンガデール駐 を受している。 のつてシンガデール駐 を関目總領事は近くシンガから硫酸を輸入して日本 を受している。 のである を対して日本 を対して日本 を対して日本 を対して日本 を対して日本 を対して日本 を対して日本 を対してものも を対して日本 を対して日本 を対してもなる。 のである として変質)
として変質)
として変質)
として変質) として戦職及び艦酸をディ

に米内首相を訪問 首相訪問 大村總裁 志訪問要談した 三時 高端 (東京國 一時 高端 (東京國

新嘉坡輸入禁止 ム凝結劑 邦人業者損害莫大 な

一組合が加盟し荷主との間 実利を結ぶものでその設立 実利を結ぶものでその設立

を行ふべき東電運輸組合は 中の動支不定期配船の統御 中の動大不定期配船の統御

來月初創立總會

東亞運輸組合

、訓練期間1、日本に一四、 米穀懸措置法 時價最高價格によ 改正

術生黒本訓練賞施暫定要領

個)最高價格によつても耐にその他の難談類もこと」し同時で政府の買上げを行ひその強の難談類もこの生 が一切の歳入、歳出も来談告 んとするものである っても買上

の堅實 **威力を謳歌**

つであるで、今回の制度は全場ので、今回の制度は全場ので、今回の制度は全場定されてゐた點が異る 除通信班

に萬全策

れた、犯人は作年一月抗敵 自衛團に投じ情報員として 嘉興附近に出入、わが方の 勝負十數名と共に行動を起 し九月一日前記の如く縣知 本を暗殺したものである



トツケスピクルミ養榮・進促育發の見幼



湯タンボト震爐 作帶道具 光線療法科 レントゲン科 河 外科 商品 所二ルビ版専目丁三列級版本 ● 八 七 八 目 (3) ■ 智 所一ルビ安興路大安興 院 分

を食つてありやア天下素平とでしがこのボーツといい無持になって居るのはネ、灘の生一本白地と、うまい滋養のある菜めし 楽めしおでんじやばか盛す酒じや興業號の自業す ちなめし 新京銀座新道(消防署 えんだけど、あつ いかわげじ やない かわけじ やない こんなこた II 君 を東入し

胃腸病、パインキ、其他の慢性諸病淋病、婦人病、蓄膿症、皮膚療 病、婦人病、蓄膿症、皮膚病 治療法によられよ治療法によられよ 線療法の説明書進呈)

0

煎樂生堂HS線新京療院

新京砚町二

ノ四(西本願寺西橋入)





全滿水上選手權大會

下根八面子(下根八面子) 下根八面子(上) 下根八面子(上)

堀池孃

開しては数年前から日満開 係機關の間に於て種々調査 必會社が獨逸より購入した ハインケルーー六型により 野和十三年五月十一日日本

東、上海にまで延長して 前から現在の北京線を南 に於ても日満文が環地を に於ても日満文が環地を に於ても日満文が環地を ・ 航空路の擴 ・ 一 一 道に乗り賃

Mi

全

に誇

記念公會堂

一千六百年に輝く空路躍

日本海横斷航空

前手を送り、に

四月頃愈よ就航

飛ぶはこれ純國産機

競技本位を改め

精神方面を宣揚

追城子署 無許可馬車 洋車共六十件、科料設議 一度分合計二百五十件 「現 一葉 一部 一一八件 「現 二十八件 央通署 裏の抑 留 馬車のの他百二十件【宮饌は中の他百二十件【宮饌は中 その他六十件

度も『目粛日に映畫の上映 郷を極め業者側がちの珍論 が時々出席者連を爆笑させ たが▼各代表より何度も何

まして富日は歌舞音曲 吹楽見物にうつくを最



園公恐懼感激

容體發表

ついて出

本日(廿九日) 臨時休業仕候 お知ら せ



に新京を敗る

3.0







等院底書持参学嗣子は月論にして住込も可希望者は自 学院底書持参学嗣子は月論にして住込も可希望者は自 が京日本橋通七四番地

校正係募集

フォード 八年後期 壹台

在

社

至急賣度

かは果然反 るかどら 御建土場 希望家地所 御

有一百年 有一十七年五十七年五十七年五十七年五十七年五十十二年 第二十七年五十十七年五十十七年五十十七年五十十七年五十十七年 滿洲印刷株式會社

一、女事務員 若干名布理者は腹脈書持象本人类读ありたし 新京朝日通五七(領事館) 新京朝日通五七(領事館) 第京建國路四二二電空七一 新京建國路四二二電空七一 九日三十日兩午後本人 一ノ炊事部

八日の日曜日午後本社一帯断店主手塚照朝氏は

石川會計科長 特會計科長は省富局始め各 前をの折額を終へ三十一 市場京の豫定

感よ積極的に活動を閉始するよれ様のに活動を閉始するとなりである。 9市公署會議室に各しけぶ二十九日午前

立記念日

倉可憐な書示子等の演技に た後引織ご見意等の學獎會 に移つたが、父兄等多數來 迎へ午前十時より記念式典同校の第四回創立記念日を

改

造和

木日設備完成一

尙

談に應じます。 政造中は多大の御迷聴をお掛け致しました、

樂 0 ウ

樂 (六〇回 原 液

東二條通二七双 p: Ŧi.

0

協力强力、使用簡便、防にはフタバ薬局の